

# 「平成30年7月豪雨に関するアンケート調査結果及び今後の取組みに向けた分析」の訂正の概要

## 1 主な変更箇所

●住んでいる場所の危険性の認識  
誤 60.4% ⇒ 正 80.9%

●ハザードマップの認知度  
誤 37.5% ⇒ 正 50.8%

●避難指示(緊急)の対象地区  
・「適切」の割合  
誤 39.4% ⇒ 正 56.2%  
・「広すぎ」の割合  
誤 19.6% ⇒ 正 18.7%  
・「狭すぎ」の割合  
誤 10.9% ⇒ 正 0%

●なお、避難指示(緊急)が発令されたことを知った人の中で、すぐに避難しなかったと回答した人の割合は、約75%で変更なかった。

また、発令を知った手段や避難を決めた理由などについては、若干の数値の変更はあるものの、大きな傾向は変わらなかった。

## 2 今後の県が取り組む防災・減災の施策の方向性

● アンケート結果を踏まえて、「① 災害リスクの理解」、「② 避難行動の理解」、「③ 避難情報等の伝え方」の観点から、今後、県が取り組む防災・減災の施策の方向性には、影響は生じなかった。

## 3 全体の訂正内容

●Q4、5: 単一回答の質問に複数回答した回答の修正

●Q6～11: 条件付き質問(前の質問への回答次第で回答する必要がある質問)に対する回答の修正

●Q12以降: 三豊市のQ12以降のデータにおけるズレの修正